

Nice Town Good People

中央区 第27号

こんにちは 町会です

銀座八丁目
町会

晴海自治会

人形町二丁目
三之部町会

【お問合わせ先】

◎京橋地域
区民部地域振興課
電話:03-3546-5337

◎日本橋地域
日本橋特別出張所
電話:03-3666-4251

◎月島地域
月島特別出張所
電話:03-3531-1151

この「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入・参加のきっかけになることを目的としています。

さあ、あなたも地域コミュニティへの参加に向けて第一歩を踏み出しませんか。素敵なまちづくりと一緒に取り組みましょう！

特に、防災活動については、防災訓練の実施や災害用備蓄品の点検・充実を図るなど、安全で安心なまちづくりにまちぐるみで取り組んでいます。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

町会・自治会活動に参加して世代を超えたふれあいを！

わがまち中央区の人口は、平成九年の最少時の二倍を超え、今年一月には、十五万人を突破し、今後も人口の増加が予想されます。

まちのにぎわいが増す中で、あらゆる世代の方たちが、安全・安心に暮らし続けていくためには、地域の人々同士の相互理解や信頼関係の構築が何よりも大切となります。

地域の中で、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会活動に参加して世代を超えたふれあいを！

橋
地域歴史と商業文化が融合する、
活気ある町づくりを推進

銀座八丁目町会会長 杉原慶一さん

杉原の
たかし

百貨店や専門店、老舗が軒を連ね、国内外からの観光客でにぎわう商業地の銀座。銀座八丁目付近は、江戸時代には能楽の金春流の屋敷があり、また江戸後期になると金春新道沿いの料理屋・待合から人気となりました。そして、明治時代には花街柳橋とともに「芸の新橋」として日本の社交場に発展していきました。

銀座八丁目町会は、この由緒ある芸能の地を大切に守りながら活動しています。特に、銀座金春通り会が毎年八月に開催している「能楽金春祭り」は、町会内で開催されるビッグイベントであり、町会も協力しています。杉原会長は「能楽という神事は貴重なもの。ぜひ若い人にも興味を持ってもらいたいですね。」とその意義とともに、「歴史ある地区で培った絆は強く、力を合わせながら取り組んでいます。」と話しています。

歴史と商店を守るために尽力

町会で力を入れているのが防災活動です。数年前には全町会員に防災袋を配布し、東日本大震災以降は年一回の防災訓練でAED(自動体外

式除細動器)の使い方や初期消火訓練も行うようになりました。防災拠点・避難場所となる区立泰明小学校の鍵の管理も二人体制で行っています。

銀座は昼夜営業活動が続くこと、町会員も企業や店舗の代表者が多く在住者がほとんどいないことから、「いざという時にはすぐに動けるように連絡体制を整え、安全・安心なまちのために目を光らせています。」と杉原会長。

また、銀座のシンボルであった柳を大切にしたいという考えのもと、接木で再生した「銀座の柳二世」が植えられている銀座・新橋ミニパークを、新橋一丁目東部町会と交代で月二回自主清掃を行っています。

町会員の親睦を深める活動では、年二回・春秋に開催するカルチャーウォーキングが好評です。首都圏中心に有名史跡やアート・カルチャーを楽しむ企画で、毎回三十人ほどが参加しています。

伝統とチャレンジ精神で
活性化

商業地であるため、防災・防犯対策

や急増したインバウンド対応など、他の町会とは異なる課題も多い銀座八丁目町会ですが、AEDマップの作成や町会広報誌の発行など、さまざまな取り組みも進行中。単一町会では対応が難しい課題には、他町会や通り会、行政と連携しながら検討していく予定です。「最近では町会内でも代替わりが進み、四十代の若手も増えてきました。諸先輩方が築き上げた歴史や伝統を守りつつ、これからもお互いにとつていいことを考えていきたいですね。」と語る杉原会長は、若手・ベテラン会員の団結力が深まることに期待を寄せています。

カルチャーウォーキングの様子



銀座・新橋ミニパークの自主清掃

町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。

そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板(会員のみ利用可能)や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご活用ください。

中央区のホームページからも
リンクがありますので、ご利用ください

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問合わせ先

区民部地域振興課自治振興係
03-3546-5337

日本橋
地域

江戸情緒と下町気質で、 各世代が楽しめる町会目指す

人形町二丁目三之部町会会長 高梨節三さん



江戸時代にあった花街の名残や現在でも残る料亭、その合間に建つ高層マンションなど、江戸情緒と現代が混在する人形町。人形町二丁目三之部町会の該当区域は遊郭の入口が由来である大門通りと甘酒横丁に面した位置にあります。昔は黒塀で、人力車が走る風情あるまちで、戦後は小さな家や商店が建ち並び、現在でも四十件ほど残っているそうです。

このような歴史を背景に、同町会は中小規模で商売をする町会員が中心です。また近年は立地・まち並みの良さからマンションも増え、賃貸マンション五棟、分譲マンション一棟が建ちました。高梨会長は「町会への参加について、理解をいただけない部分もありますが、地域の絆を深めるためにも、町会に参加していただけるように努めていきます。」と話しています。

子どもにも人気のイベント

町会の活動は、四月に桜を楽しむ花見会や七月の盆踊り・子ども夏まつり、十月のバスハイク、十二月の餅つき大会などがあります。さらに、二年に一度開催される「神田祭」では大

人神輿(みこし)も担ぎます。また、新入生、新成人と敬老のお祝いなども欠かさずに行っています。平成二十八年十一月の防災訓練では、中央区から支給された防災資器材を使い、初めて炊き出し訓練も行いました。また、平成二十五年からは年に一回のペースで町会広報誌「にんにのさん」の発行も始めました。

七月に開催する盆踊り・子ども夏まつりは、子ども向けゲームや夜店、十八時から二部形式で行う盆踊り、大抽選会と子どもから大人まで楽しめる内容で、毎年大勢の町会員が集まります。また、十二月の子ども餅つき大会には、同町会だけでなく人形町地域にある他の町会

も参加します。「町会イベントや地域イベントを通じて、いろいろな世代の交流ができることが町会のいいところ。毎年子どもたちも楽しみにしてくれています。」と高梨会長。近所誰もが面倒見がよいという下町気質が色濃く残る町会です。

江戸文化を継承する町会として活動

町会には何世代も続く老舗も数多いことから、長年にわたり守り継いできた江戸文化とご近所付き合いから生まれる結束力が、人形町二丁目三之部町会の特徴となっています。「目下の悩みは、町会役員の後継者問題と町会への加入者が増えないことです。サラリーマンも多いので町会活動に参加するのは難しいと思いますが、ぜひいろいろな活動に参加して地域の絆を感じてほしいですね。」と語る高梨会長は町会のさらなる結束力の向上を目指しています。



町会広報誌「にんにのさん」

～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

町会は、日頃から地域の活性化に加え、行政と連携した防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも取り組んでいただいています。

法人企業においても、いざという時のために日ごろから町会との連携を深め、協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りや餅つきなど、町会主催のさまざまなイベントに参加することで、日中の多くの時間を過ごす地域の方とのコミュニケーションが図れます。さらに、町会に加入すると、区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、この機会に町会への加入をご検討ください。皆さんの事業所がどこの町会エリアかなど、町会に関する詳しい情報は、2面記載の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。



月島
地域

団地時代から「ふるさと」活動 生活者目線で活動する自治会

晴海自治会 会長 中澤孝子なかざわ たかこさん



晴海自治会は、昭和三十三年に建てられた高層住宅の住民で構成され、昭和五十七年に正式な自治会として発足しました。

晴海地域の一大イベントとなつてくる夏の盆踊り大会。「現在は十四の町会・自治会により開催しています。最初は高層住宅ということが入居者も多く、晴海がふるさとになるように」と思いで、当時の自治会長から盆踊りの提案があり、晴海自治会の単独事業としてスタートしました。その後、単独事業として二十年以上続けました。」と中澤会長。

生活者目線の活動を重視

自治会の活動としては、新入生・新人・敬老のお祝いや年末の夜警活動、防災訓練、自治会広報誌「はるみ」の発行などを行うとともに、レクリエーションとしてバス旅行も企画しています。この旅行は昭和五十二年から始めた息の長いイベントで、前は十月に秩父のヒガンバナ観賞とランチバイキング、シイタケ狩りという内容で開催しました。自然と食を楽しむ企画ということで、親子連れも含め七十三人が参加。日帰り

あるため早朝出発・夕方帰宅という日程ですが、「季節の花や味覚を楽しみながら交流するので、皆さん毎年楽しみにしてくれています。」と中澤会長。子どもたちも参加する年末の夜警活動は、「冷えた身体が温まるように」と自治会メンバーが持ち寄りで作る豚汁が大好評。世代を超えた交流ができるということで、年々参加者も増えていきます。

また、自治会活動で大切にしているのは、高層住宅管理会社への設備改善申し入れ活動です。毎年三月に「水栓・ガス・電気に関する修理・取替えに関する申し込みについて」のアンケートを全戸に配布し、修理・取替えを一括して依頼するようにしています。そのほか、未使用である駐車場を自治会で管理し、来客用駐車場として活用したり、災害時の安否確認マグネットを作成するなど、自治会員の住環境の向上と良好なコミュニケーションの形成に努めています。特に自治会員は高齢者が多いので、防災については自治会の防災防犯部を中心に力を入れて取り組んでいます。前回実施した防災訓練では約六十人が参加し、作成した安否確認マグ

ネットを使った避難方法の確認や、バルコニーに設置されている非常用隔て板（パーティション）を破る訓練も行いました。

「晴海がふるさとに」がモットー

現在、自治会員の三割近くが八十年代から九十代までの高齢者。一方、子育て世帯や外国人などの新規入居者が増加していますが、自治会加入者が少ないことが課題です。「皆さん事情がありますので加入を強制することはできませんが、お話をすれば理解を示してくれます。」と語る中澤会長。今後も丁寧な自治会の活動内容を説明していくとともに、「晴海がふるさとになるように」の思いを持って、これから自治会活動も自治会活動を続けていきます。



安否確認マグネット

コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日は一人100円（敬老入浴証持参者および小学生以下は無料）で入浴をお楽しみいただけます。みなさんのご利用をお待ちしております。

- 時間 各浴場営業時間
- 場所 中央区内公衆浴場（銭湯）
- 対象者 中央区内在住・在勤者
- 入浴料金 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料



お問い合わせ先

区民部地域振興課区民施設係
03-3546-5623